

# 目 次

## 文化経済学会＜日本＞2015年度東京大会

### ≪凡例≫

各発表の討論者については、討論者氏名末尾の上付き数字と発表タイトル末尾の上付き数字を参照してください。

表示例)

①-A 文化価値と文化財	●座長：阪本 崇 ●討論者：清水 裕文 <sup>1</sup>
タイトル	発表者
文化財まちづくりにおける矜持遺産の布置と市民トラスト文化財の提案を通じた持続可能なまちづくりに関する研究 <sup>1</sup>	藤原 恵洋

### 分科会 ①

①-A アートプロジェクト ●座長：野田 邦弘 ●討論者：増淵 敏之<sup>1</sup>／藤原 恵洋<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
旧産炭地には独自の芸術文化活動が根付いたのか？ ～旧産炭地の労務管理体制や人材流動化がもたらした創造人材による芸術文化環境形成に関する研究～ <sup>1</sup>	國盛 麻衣佳	12
アートプロジェクト構想におけるアートボランティア・リクルーティングの実態に関する考察 <sup>1</sup>	藤原 旅人	14
地域振興におけるアートの役割と影響 —「第1回、第2回瀬戸内国際芸術祭」住民小中学生意識調査から— <sup>2</sup>	山本 暁美	16

①-B クリエイティブ産業 ●座長：井口 典夫 ●討論者：井口 典夫<sup>1</sup>／河島 伸子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
2000年代におけるクリエイティブ産業の地域分布 <sup>1</sup>	朝田 康禎	20
アート・プロデュース論の枠組みに関する考察—実践事例を通して— <sup>2</sup>	境 新一	22
マキノを核とした社会的ネットワークを通じて創発された映画都市京都：1945年以前の日本映画産業における競争的構造 <sup>2</sup>	前田 耕作	24

**①-C 観光**●座長：牧 和生 ●討論者：澤村 明<sup>1</sup>／金武 創<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
文化遺産と県観光政策 <sup>1</sup>	金武 創	28
観光における地域統計の課題と今後の方向性 <sup>1</sup>	山本 史門	30
観光映画の視点から読む中村登作品 <sup>2</sup>	須川 まり	32

**①-D 教育・アウトリーチ**●座長：新藤 浩伸 ●討論者：後藤 和子<sup>1</sup>／柳 与志夫<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
グローバル時代における美術館のレリバンス：言語教育プログラムからの考察 <sup>1</sup>	木下 綾	36
公共図書館におけるアウトリーチとしての学習プログラムの検討 <sup>2</sup>	岩井 千華	37

**分科会 ②****②-A 文化需要の実証分析**●座長：阪本 崇 ●討論者：阪本 崇<sup>1</sup>／勝浦 正樹<sup>2</sup>／有馬 昌宏<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
家庭環境が大学生の実演芸術鑑賞に及ぼす影響に関する分析 <sup>1</sup>	有馬 昌宏	40
コーホートからみたゲームの需要を規定する要因の分析 <sup>2</sup>	仲村 敏隆	42
日本のオーケストラ楽団の鑑賞頻度に関する研究：ディリクレモデルの適用 <sup>3</sup>	涌田 龍治	44

**②-B 建築・デザイン**●座長：川本 直義 ●討論者：本杉 省三<sup>1</sup>／草加 叔也<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
日本の戦前戦後を『汎美計画』で結んだ小池新二における産業デザイン振興と生活デザイン啓蒙—文化経済学的観点からの再評価— <sup>1</sup>	藤原 惠洋	48
公共建築物の設計者選定方法に関する研究 —一県・市を対象とした実態調査— <sup>2</sup>	本杉 省三	50
大規模な伝統木造建造物の材料となる長大高品質木材の経済的特性 <sup>2</sup>	峰尾 恵人	52

## ②-C 文化支援

●座長：宮崎 刀史紀 ●討論者：野田 邦弘<sup>1</sup>／川井田 祥子<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
障害者の芸術表現の支援政策に関する一考察 ～最近の日本国内の動向から～ <sup>1</sup>	川井田 祥子	56
「病院祭の実績と評価」—地域包括ケアシステム構築を見据えて— <sup>1</sup>	今田 彰	58
市民文化活動支援のネットワークの歴史と実践： Mailout および Culture Action Europe を対象に <sup>2</sup>	新藤 浩伸	60

## ②-D 人材育成と地域活性化

●座長：佐々木 亨 ●討論者：熊倉 純子<sup>1</sup>／小林 真理<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
大学ミュージアムによる多様な創造環境の形成 —歴史都市の持続的発展における芸術系大学の社会的役割— <sup>1</sup>	前田 厚子	64
地域連携と地方創生 <sup>2</sup>	松下 愛	66
創造的人材の移動と集積に関する考察 <sup>2</sup>	吉峰 拓	68

## 分科会 ③

### ③-A 文化経済学における新たなアプローチ

●座長：有馬 昌宏 ●討論者：八木 匡<sup>1</sup>／西郷 浩<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
CONSOLIDATE RELATIONSHIP WITH VISITORS THROUGH LARGE-SCALE DATA: VISITOR'S HETEROGENEOUS POST-VISIT BEHAVIORAL INTENTION MODEL <sup>1</sup> (英語発表)	姜 有美/ バク ジョンヒョン	72
こだわり、共感およびホスピタリティと文化に関する認知科学的試論 <sup>1</sup>	牧 和生	74
劇場・音楽堂等の潜在観客向け便益の明確化とプライオリティ化 <sup>2</sup>	佐野 直哉	76

### ③-B まちづくり (1)

●座長：曾田 修司 ●討論者：藤原 恵洋<sup>1</sup>／石垣 尚志<sup>2</sup>／梶田 美香<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
非劇場型映画上映とまちづくり —神奈川県藤沢市と宮城県石巻市の事例を中心に— <sup>1</sup>	石垣 尚志	80
まちづくりとのつながりの側面からみた今日的“アーティスト像” —長久手市文化の家「おんぱく 2014～音のテーマパーク」の事例から— <sup>2</sup>	梶田 美香	82
市民討議のデザインにおける問題定義の効果 —長久手市「文化の家」の事例から— <sup>3</sup>	島田 善規	84

### ③-C 伝統文化・芸能

●座長：後藤 和子 ●討論者：山田 太門<sup>1</sup>／徳永 高志<sup>2</sup>／中坪 功雄<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
1964年東京五輪と1970年日本万国博覧会から学び、2020年東京五輪・パラリンピック文化プログラムに絆、交流する文化プログラムに期待する <sup>1</sup>	中坪 功雄	88
文化資本としての食材の維持発展と地理的表示法の意義について ～和菓子の材料を事例に～ <sup>2</sup>	森崎 美穂子	90
花街芸能の伝承—京都祇園甲部と京都北野上七軒の教育現場を中心に— <sup>3</sup>	中原 逸郎	92

### ③-D パフォーミングアーツ

●座長：熊倉 純子 ●討論者：勝浦 正樹<sup>1</sup>／藤野 一夫<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
オペラ・演奏会の上演回数と都市の階層性 <sup>1</sup>	大城 純男	96
オーケストラの「地方公演」の類型とその位置付けに関する考察 <sup>2</sup>	佐藤 良子	98
来場者の演劇鑑賞を通じた劇場に対する価値評価—「鳥の劇場」来場者に対する仮想評価法を用いたアンケート調査を踏まえて— <sup>2</sup>	鈴木 星良	100

## 分科会 ④

### ④-A アジアの文化政策

●座長：佐々木 雅幸 ●討論者：萩原 雅也<sup>1</sup>／川崎 賢一<sup>2</sup>／佐々木 雅幸<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
韓国における創造都市事業を基盤づけたパブリックアート政策の評価と課題 <sup>1</sup>	張 慶彬	104
文化創意産業を発展させる社会的基盤—香港文化創意園区の事例から— <sup>1</sup>	馬 麗娜	106
現代シンガポールのコミュニティ（・アート）政策 〈コスモポリタン〉〈ハートランダー〉問題とネーション形成 <sup>2</sup>	南田 明美	108
ベトナムにおける都市の創造性と持続的発展：中部フェ市の事例から <sup>3</sup>	槌屋 洋亮	110

## ④-B まちづくり(2)

●座長：川井田 祥子 ●討論者：友岡 邦之<sup>1</sup>／太下 義之<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
アーティストと地域住民は同じ夢を見るか アーティスト・イン・レジデンスと地域の関係 <sup>1</sup>	野田 邦弘	114
趣味縁やアート拠点の参入が都心の多様性を再生させる可能性について ～札幌市と群馬県前橋市の事例から～ <sup>1</sup>	加藤 康子	116
ゴーストタウンの未来を <sup>2</sup>	阿 思根	118
地域固有資源の発掘と活用に基づく創造的地域再生デザインワークショップ の評価と課題—九州大学藤原恵洋研究室による九州大学社会連携事業「天草 下浦フィールドワーク」の実践を通して— <sup>2</sup>	高倉 貴子／ 藤原 恵洋	120

## ④-C 文化政策

●座長：米屋 尚子 ●討論者：片山 泰輔<sup>1</sup>／衛 紀生<sup>2</sup>

タイトル	発表者	頁
地域における文化・芸術の政策とその運営に関する研究 <sup>1</sup>	林 宰寛	124
開かれた地域の文化資源としての“オープン・カルチュラル・リソース” <sup>1</sup>	佐藤 忠文	125
パリ日本館の現状と課題—わが国における対外文化政策のジレンマ— <sup>2</sup>	松本 茂章	127

## ④-D 理論・思想

●座長：伊藤 裕夫 ●討論者：中谷 武雄<sup>1</sup>／勝村 務<sup>2</sup>／伊藤 裕夫<sup>3</sup>

タイトル	発表者	頁
マルクス経済学と文化・文化経済学 <sup>1</sup>	勝村 務	130
ラスキンの建築論と自然観—パースの現象学を手がかりとして— <sup>2</sup>	橘高 彫斗	132
文化資本経営の本質 <sup>3</sup>	池上 惇	134

